

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RexAcctScript を編集して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、アカウントリング ログ ファイルが CSV 形式を反映するように、Cisco CNS Access Registrar の RexAcctScript を手動で編集する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco CNS アクセスレジストラ バージョン 1.7 および 3.0 に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

RexAcctScript を編集して下さい

アカウントリング ログファイルにビリングアプリケーションで使用できる CSV フォーマットを反映してほしかったら RexAcctScript を手動で編集し、リコンパイルして下さい。ファイルは \$ARINSTALLPATH/examples/rexacctscript/AcctAsScript.cpp にデフォルトであります。

会計の形式を変更するために、この表で示されている変更を行なって下さい:

ライン番号	ライン番号	送信元	『
-------	-------	-----	---

AR 1.7	AR 3.0		
2080	2090	* (pEnd++) = 「\n」 ;	* (pEnd++) = 「」 、 ;
2069	2079	* (pEnd++) = 「\t」 ;	* (pEnd++) = 「」 「 ;

注 「」領域がはいっています。

あなたのために RexAcctScript スクリプトを、使用 GCC 2.95-3 コンパイルし、インストールして下さい。追加詳細については、[-REX 会計スクリプトを使用して... Cisco CNS アクセスレジスタ ユーザーズ ガイド](#)を参照して下さい。

アカウントリング ファイルの出力はそのようなことを検知 する必要があります:

アカウントリング ファイルは今各エントリ間のカンマが (「」、) 含まれています。

[関連情報](#)

- [Cisco アクセスレジスタ サポートページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)